

竹ノ塚駅付近鉄道高架化促進連絡協議会

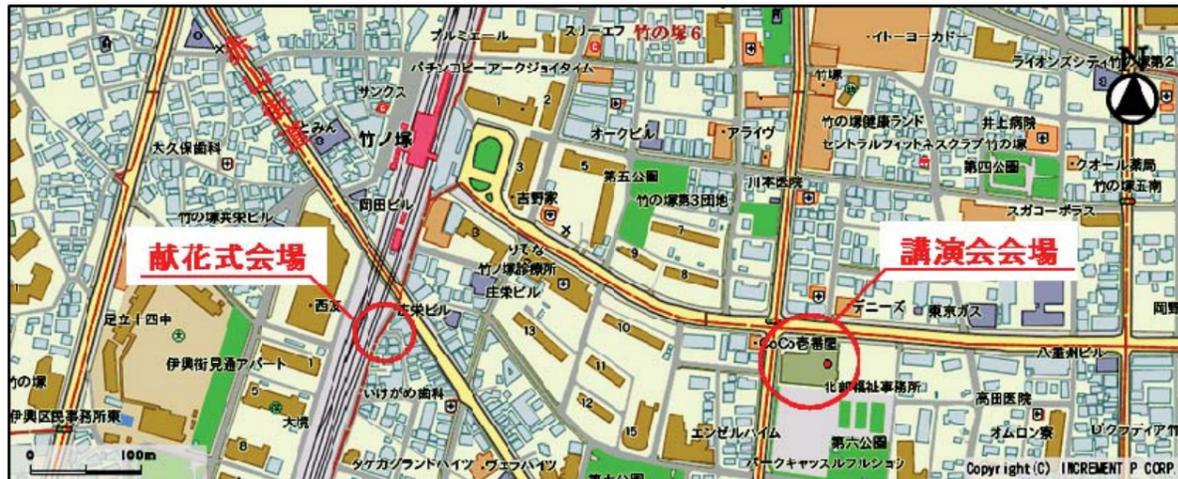
献花式

日時 平成27年3月15日(日)午後4時30分から
(講演会の終了時刻によって、前後します)

場所 竹ノ塚駅南側の大踏切(第37号踏切) 東側
(足立区竹の塚一丁目28番地先)

次第

- 1 黙 禱
- 2 献 花(ご遺族)
- 3 あいさつ
- 4 献 花(参列者)



〔注意事項〕

- 参加は自由です。どなたでも参加できます。
- 現地にて献花用の花をご用意しております。
- 献花式会場には駐車・駐輪スペースはございません。

安全・安心なまちをめざして
～竹ノ塚駅踏切事故から10年～

講演会

日時 平成27年3月15日(日)午後2時から
(午後1時30分開場)

場所 竹の塚地域学習センター 4階ホール

次第

- 1 開 会
- 2 来賓紹介
- 3 報 告 足立区長 近藤 やよい
「竹ノ塚駅付近鉄道高架化工事の進捗状況」
- 4 講 演 柳田 邦男 氏
「一つのいのち、みんなのいのち
～安全・安心な社会をつくるために～」
- 5 あいさつ 紡ぎの会代表
「思いを紡ぐ」
- 6 閉 会



<柳田邦男 講師プロフィール>

略 歴：1936年生まれ。ノンフィクション作家。
現代におけるいのちの危機をテーマに、様々な
事故、災害、公害の取材・執筆活動を半世紀に
わたり続けている。

審議会等：東京電力福島原子力発電所における事故調査・
検証委員会(政府事故調)委員、運輸安全委員
会の福知山線列車脱線事故調査報告書に関わる
検証メンバーの委員

【問合せ先】紡ぎの会(踏切事故遺族の会)
代表 加山 圭子

竹ノ塚駅付近鉄道高架化促進連絡協議会事務局

足立区竹の塚整備推進課立体化担当 ☎03(3880)5484

東武伊勢崎線（竹ノ塚駅付近）連続立体交差事業

1 都内初の区施行連立

工事着手までの主な経緯

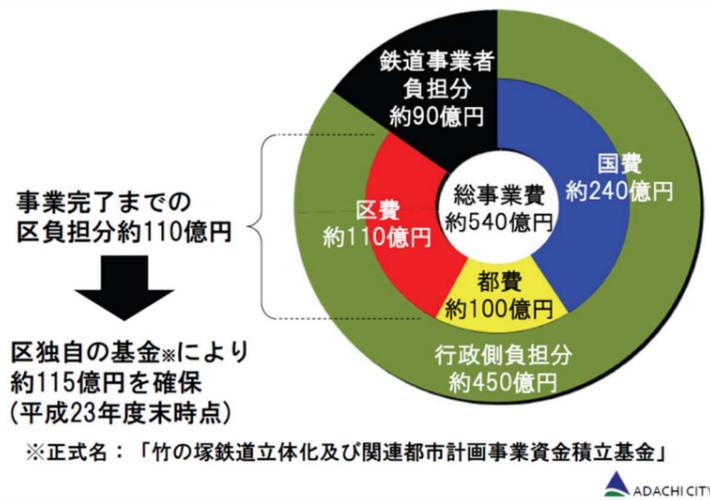
- 平成16年 6月 踏切対策基本方針に位置づけられる
- 平成17年 3月 第37号踏切で死傷事故
- 4月 連続立体交差事業の施行者を拡大
- 8月 約22万人の署名提出
- 11月 事業資金積立基金を創設
- 平成18年 4月 連続立体交差事業の採択要件を緩和
- 平成23年 3月 都内初の区施行として都市計画決定
- 12月 事業認可取得
- 平成24年11月 工事着手



- ・平成17年3月の事故後、制度改正や採択要件の緩和があり、平成23年3月に都内初の区施行として都市計画決定。同年12月には事業認可取得、平成24年の11月に工事着手しました。
- ・事故発生から7年7ヶ月での、異例とも言えるスピードで工事着手することができました。

2 独自に基金を積み立て

区独自の取り組み



- ・総事業費約540億円のうち、補助金を除いて区が純粋に負担する金額は、約110億円です。
- ・平成23年度末までに、約115億円の基金を積み立てました。

3 制約の多い難工事

事業の概要



- ・本事業は、約1.5キロメートルの区間を高架化することで、2つの踏切を除却します。
- ・事業認可期間は、平成23年12月20日から平成33年3月31日までとなります。
- ・工事は、1日約千本もの鉄道運行を確保しながら施工する必要があるため、終電車から始発電車までのわずかな時間しか線路内の工事ができないなど、制約の多い大変な難工事となっております。

4 まずは下りの急行線！

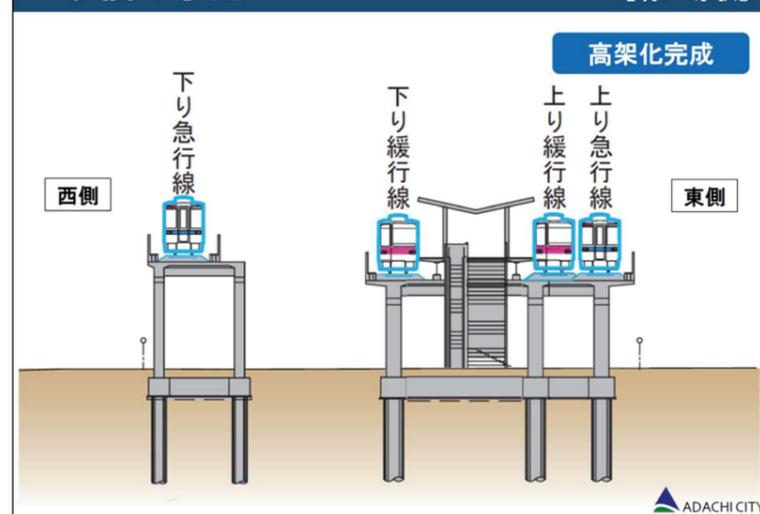
今後の予定



- ・現在、着々と工事を進めており、平成27年度末までに、まずは、下り急行線の高架橋を完成させます。

5 平成32年度末高架化完成予定

今後の予定



- ・順調に工事が進めば、平成32年度末には全線が高架化できる計画です。

6 新しいまち竹の塚を目指して

竹の塚の将来イメージ



- ・高架化に合わせた、まちづくりも進めています。
- ・現在、地区計画の策定に取り組んでおり、こちらは、その計画をイメージにしたものです。